

停電時の使い方（自立運転）

非常時運転モード / 非常時安心設定を設定する

- 工場出荷時の設定は次のとおりです。
 「非常時運転モード」：自動モード
 「非常時安心設定」：OFF

非常時運転モードの種類について

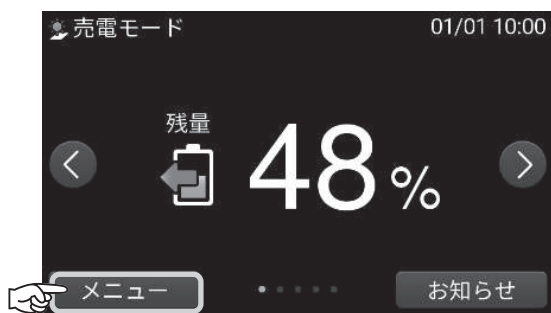
自動モード	待機モード
<p>蓄電池と太陽光発電から非常時兼用コンセントへの電力給電を行います。 太陽光の電力を優先して使用し、電力の過不足を自動的に判断して蓄電池からの充放電を行います。</p>	<p>非常時兼用コンセントへの電力供給は行いません。 太陽光の電力は蓄電池へ充電します。</p>
<p>太陽電池モジュール</p> <p>↓ 太陽光パワーコンディショナ</p> <p>↓ パワーコンディショナ 停電時兼用コンセント</p> <p>電力供給 →</p> <p>↑ ↓ 充放電</p> <p>蓄電池ユニット</p>	<p>太陽電池モジュール</p> <p>↓ 太陽光パワーコンディショナ</p> <p>↓ パワーコンディショナ 停電時兼用コンセント</p> <p>↓ 充電</p> <p>蓄電池ユニット</p>

非常時運転モード / 非常時安心設定の設定方法

1

設定情報画面に切り替える

トップ画面で「メニュー」をタッチし、メニュー画面に切り替えた後「設定」をタッチします。



2

非常時運転モード画面に切り替える

設定画面で「非常時運転モード」をタッチします。

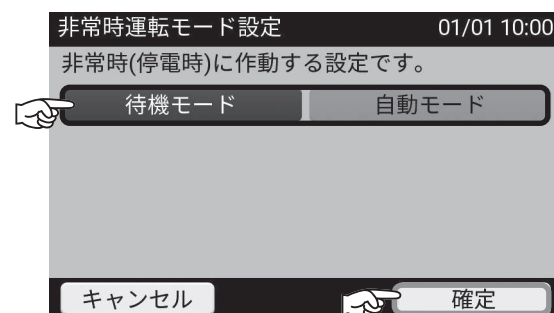


蓄電池の使い方

3

非常時運転モードを選択する

設定したい運転モードを選択し、「確定」をタッチします。



4

非常時安心設定画面に切り替える

設定画面で「非常時安心設定」をタッチします。



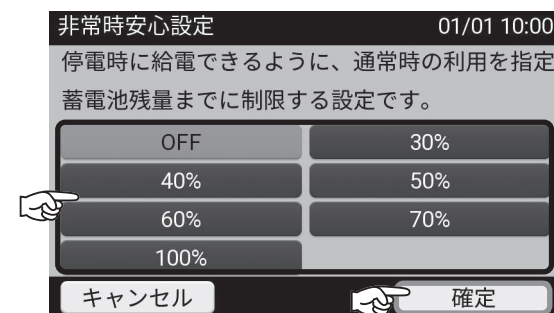
5

非常時安心設定を選択する

OFF/30%/40%/50%/60%/70%/100%から選択し、「確定」をタッチします。

停電時に非常時兼用コンセントへ放電できるように、通常時の利用を指定蓄電池残量までに制限する設定です。

指定蓄電池残量を下回ると放電を停止します。



停電発生時の操作

停電が発生した場合、本蓄電システムの特別な操作は必要ありません。

自動で停電モードに切り替わり、給電します。

本蓄電システムと太陽光パワーコンディショナを連携するには、

太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、停電直後、停電復帰直後は操作してください。

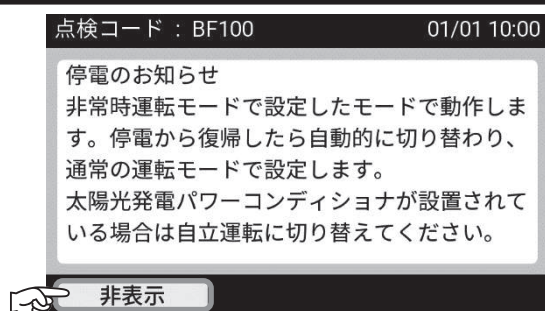
停電を検知すると画面に点検コードが表示され、自立運転に切り替わり、自立運転ランプが緑に点灯します。「非表示」をタッチすると、元の画面に切り替わります。

自立運転中に運転停止させないでください。

一度、運転を停止すると、太陽光発電システムからの電源供給が開始されるか、停電復帰するまでは、運転を再開することができません。

以下のいずれかの操作で蓄電システムは運転停止となりますので、ご注意ください。

- ・リモコン本体の電源スイッチを OFF する
- ・メニュー画面から「運転停止」をタッチする



停電発生時

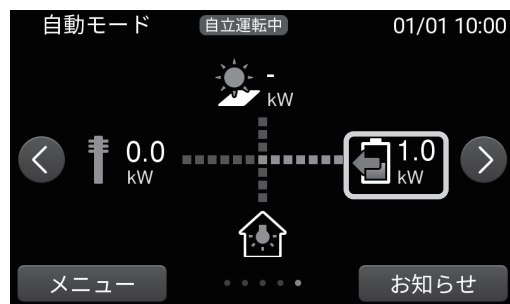


自立運転中

蓄電システム用分電盤の切替スイッチが「蓄電」側になっていることをご確認ください。「系統」側になっている場合は「蓄電」側に切り替えてください。停電が発生した場合、太陽光発電ブレーカを「OFF」にし、太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、太陽光発電を自立運転に切り替えてください。

※ 切替スイッチが「系統」側の場合、停電時は非常時兼用コンセントには電気が供給されません。

自立運転時は、非常時兼用コンセントの消費を放電電力として表示します。また、蓄電池から放電している場合、現在の放電電力から運転継続時間の目安を10分単位で表示します。この表示される値を目安として家電製品をご利用ください。



※ 太陽光パワーコンディショナからの自立出力は表示されません。

※ 太陽光パワーコンディショナに「E0」あるいは「STOP」などの点検コードを表示する場合があります。その場合は、太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、太陽光発電を再度、自立運転に切り替えてください。

※ 運転継続時間はおよその目安です。使用環境や使用される家電製品により表示されている時間と実際の運転時間に差が生じる場合があります。

※ 非常時兼用コンセントの消費電力が小さい (0.1kW 未満) 場合や、太陽光パワーコンディショナからの自立出力を蓄電池へ充電している場合、運転継続時間は表示されません。

停電復帰時の操作

停電から復帰した場合、本蓄電システムに特別な操作は必要ありません。

- ※ 電力会社との協議で定められた時間内（最大300秒）は、停電復帰しても「準備中（パワーコンディショナ停止状態）」になります。
リモコン画面に表示された待機時間を経過すると、通常時のモードで動作します。
- ※ 停電時に蓄電システム用分電盤の切替スイッチを操作した場合は、切替スイッチを元に戻してください。
- ※ 太陽光パワーコンディショナの自立出力を切り替えた場合は、太陽光発電ブレーカを「ON」にし、太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、太陽光発電を連系（通常）運転に戻してください。

停電時の家電製品利用に関するご注意

自立運転時の非常時兼用コンセントへの定格出力は、20A*（目安：1500W）です。
電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、定格出力20Aを超える電流が流れると、内部の安全装置が作動し、リモコンにメッセージを表示して、非常時兼用コンセントへの給電を停止します。
下記の家電製品の非常時兼用コンセントへの接続は避ける、または注意してください。

生命にかかわる家電製品	接続禁止	医療機器など
途中で電源が切れると不具合を生じるおそれがある家電製品	接続禁止	デスクトップ型パソコンなど
瞬間的に大電流を必要とする家電製品	動作しない場合がある	掃除機、遠赤外線ヒーター、冷蔵庫、エアコン、ポンプなど
消費電力が大きい家電製品	動作しない場合がある	電子レンジ、電気ストーブなど

- ※ お客様の設置環境によっては、非常時兼用コンセント以外の家電製品に給電するため、非常時兼用コンセントの出力は20Aより少ないことがあります。
- ※ 消費電力が大きい家電製品を利用する際には、動作させる前に、他の接続している家電製品を減らすなど、非常時兼用コンセントの定格出力を超えないように工夫してください。家電製品によっては、自動的に運転を開始するものがありますので、ご注意ください。
- ※ もし、安全装置が作動してしまった場合は、リモコンのメッセージに従って、接続している家電製品の数を減らしてください。

●その他、安定的、安全に自立運転を行うために、下記の点にご注意ください。

- ・突入電流が大きく、消費電力が比較的大きな機器を接続すると、起動時または一定の周期で瞬間的に大電流が流れ、蓄電池の電力供給能力を超えてしまいます。そのとき他の家電製品が停止したり、蓄電システムの安全装置が作動し、非常時兼用コンセントへの給電を停止する場合があります。

■停電時に使用する家電製品の設置例（10kWhの場合）

満充電の場合、停電時に冷蔵庫、テレビ、携帯電話、ノートパソコン、LED照明など、必要最低限の家電製品（約430W）を約19時間*動かすことができます。

 冷蔵庫 120W	 テレビ 170W	 携帯電話 10W	 ノートパソコン 30W	 LED照明 100W
--	--	--	---	---

※ おおよその目安です。実際のご利用では蓄電池の充電量、使用環境で変わります。